

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成27年1～3月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイアイ7）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA

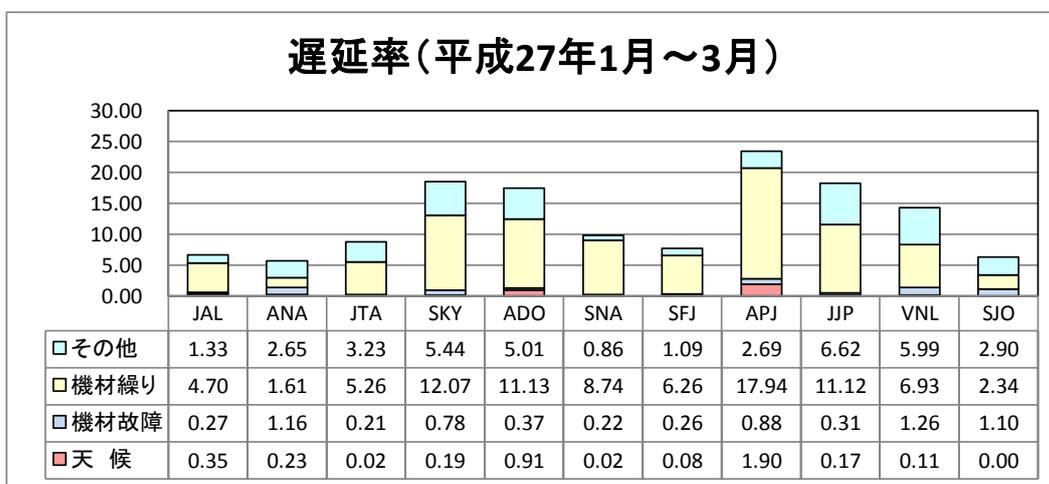
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- ハネーライア：VNL
- 春秋航空日本：SJO
- ※SJOは2014年8月1日から運航開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成27年1月～3月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
8.74%	10.19%	1.45ポイント減少

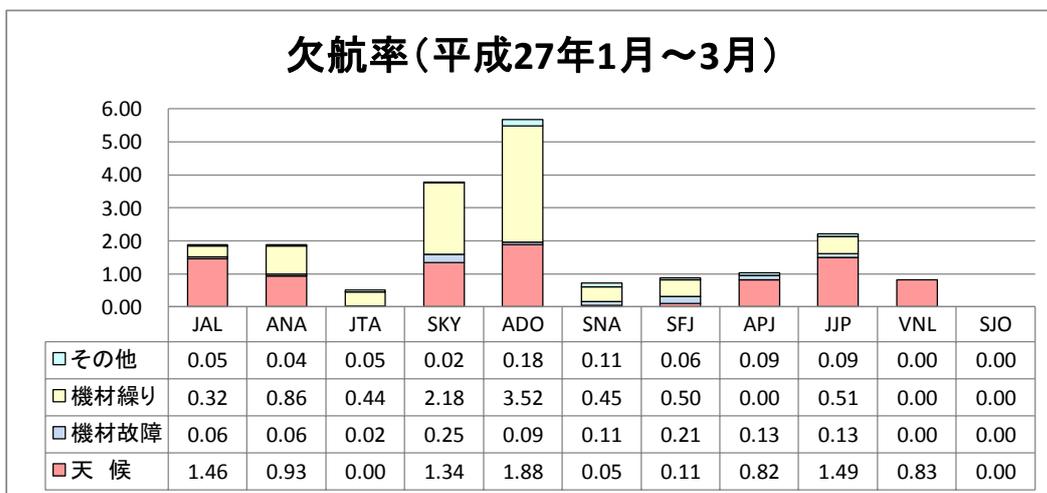
※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成27年1月～3月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
2.04%	2.16%	0.12ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成27年1月～3月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	931km	932km	0.11%減
輸送人員	2209万1534人	2139万0818人	3.28%増
輸送人キロ	205億6576万人km	199億3476万人km	3.17%増
旅客収入	3119億3百万円	3069億97百万円	1.6%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.1千円	14.4千円	2.08%減
輸送人キロあたり 旅客収入	15.2円	15.4円	1.3%減

(2) 路線別データ（平成27年1月～3月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	215万4924人
2位	東京＝福岡	203万7542人
3位	東京＝那覇	128万8651人
4位	東京＝大阪	128万5708人
5位	東京＝鹿児島	54万0505人
	全路線	2185万2586人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	関西＝鹿児島	86.9%
2位	関西＝長崎	86.8%
3位	成田＝関西	84.8%
4位	関西＝仙台	84.4%
5位	大阪＝札幌	81.1%
	全路線	65.8%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	13.2%
2位	札幌＝稚内	30.4%
3位	新潟＝札幌	34.3%
4位	仙台＝神戸	35.3%
5位	東京＝大館能代	36.5%
	全路線	65.8%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成27年1～3月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	5.65人	2.91人
②	全日本空輸	2.22人	2.98人
③	スカイネットアジア	2.03人	1.93人
	全社平均	1.80人	2.45人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html